

ポタンウキクサ

分類: 単子葉植物、サトイモ科、ポタンウキクサ属

学名: *Pistia stratiotes*

英名: Water lettuce

和名: ポタンウキクサ

別名・流通名: 一般的な観賞用の水草としてウォーターレタスの名で呼ばれるのは本種である。

原産地と分布: アフリカ原産、アジア、オーストラリア、南北アメリカに分布する。

未判定外来生物: なし。

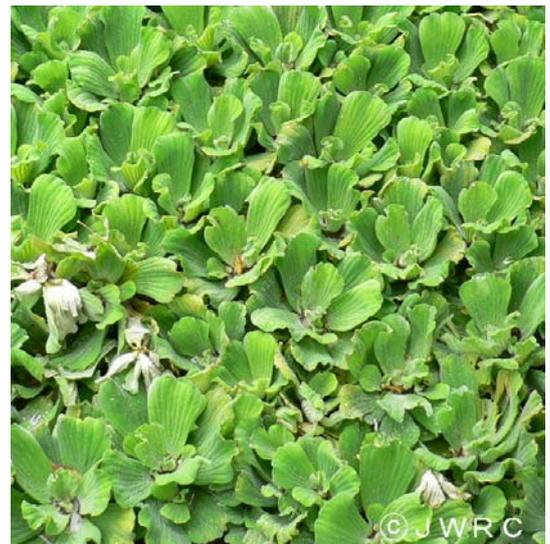
種類名証明書添付生物: ポタンウキクサ

形態的特徴:

茎葉: 主茎はごく短く、葉は水面に伏すか斜上してつきロゼット状に広がる。葉はピロード状に短毛を密生して水をはじき、裏側に突出する平行脈があり、倒長三角形～倒卵形で長さ30cmに達し、基部はしだいに狭まり、頂部は切形でやや凸凹がある。葉の間から円柱状の走出枝を出し、先端に子苗をつける。

花: 開花期は5-10月(暖地では周年)。葉脇に、長さ5mmほどの黄緑色の仏炎苞に包まれた花序を多数つけるが、小さくて目立たない。

根: 羽毛状に分裂して水中に垂れ下がり、ときに水底につく。



特記事項: 池沼、河川、水田、水路など日当たりの良い所を好む。種子で越冬できるほか、根茎や越冬芽による栄養繁殖が極めて旺盛で、九州以南では野外で越冬、増殖している。走出枝が折れ易いので、機械的に除去するのが極めて困難である。ポタンウキクサ属の植物は本種のみである。